

# 平成 22 年度第 1 回近畿ブロッククラブミーティング 2010 開催報告

日 時 : 平成 22 年 6 月 20 日 (日) 13:00~17:00  
会 場 : 和歌山県和歌山市「和歌山ビッグ愛」

平成 22 年度第 1 回近畿ブロッククラブミーティング 2010 が、6 月 20 日 (日) 和歌山県和歌山市「和歌山ビッグ愛」で開催された。近畿ブロック創設支援クラブの代表者をはじめ、府県体育協会関係者、クラブ育成アドバイザー、近畿ブロック地方企画班員、助言者の方々を含め 46 名の参加があった。

今年度、第 1 回目の内容は、グループディスカッションⅠで創設支援クラブが抱えている課題を整理し、その課題をテーマに、近畿ブロック地方企画班で「課題解決の参考」となる「解決策」についてのパネルディスカッションを実施し、再度、グループディスカッションⅡで「課題解決」に向けた具体案を協議する「起承転結」型の取り組みを行った。

## 1. 平成 22 年度総合型クラブ育成事業概要説明 (本事業の推進体制や趣旨など)

※財団法人日本体育協会から説明 (本報告では省略)

## 2. グループディスカッションⅠ

「クラブ創設に向けた課題を整理しよう！」をテーマに、参加者を A~F の 6 グループに分け、事前に提出された「これまでの活動状況」から、「クラブ設立に向けた取り組みにおける課題や困っていること、不安なこと」をもとに、クラブ育成アドバイザーが進行役を務め、協議・意見交換を行った。

その課題をパネルディスカッションに向けて分野別に整理するため、10 の課題カテゴリー (①会員の確保 ②財源の確保 ③スタッフの確保 ④理念の共有 ⑤プレイ施設の確保 ⑥既存団体との関係 ⑦行政との関係 ⑧会費の設定 ⑨クラブハウスの確保 ⑩その他)に分類し、テーマ設定を行った。



## 3. パネルディスカッション

グループディスカッションⅠで各グループが 2 つに絞った課題について、「会員・財源・施設の確保」、「クラブ設立の理念・既存団体との関係づくり」、「効果的な広報等」の 3 つのテーマに分類し、各パネリストが解決策のヒントとなる具体的な事例について説明を行った。また、コーディネーターの松田班長からは、基本となるスポーツの考え方の説明及び次のグループディスカッションⅡに向けた総括を行った。



テーマ「各クラブの課題に挑もう！」

コーディネーター：松田班長

パネリスト：立野班員、菅井班員、東班員

## 4. グループディスカッションⅡ

パネルディスカッションの内容を踏まえ、「クラブ創設に向けた課題解決の糸口をつかもう！」をテーマに、再度、各グループで出された課題の改善策や解決策について協議を行った。また、パネルディスカッションで発表されなかった課題についても協議を深めるとともに、「クラブづくり」において重要なことは何かを、各クラブの現状に合わせてまとめ、今後の取り組みの課題と解決策を整理した。

### 【グループディスカッションⅠ・Ⅱ まとめ】

#### \* Aグループ（1年目 地域規模：都市部）

課題1「広報の方法」、課題2「理念の共有」とし、広報活動については、行政との協働や子ども体験教室など、プログラム等の充実と地域の福祉団体等との協力体制の構築が解決策として協議された。理念の共有については、クラブのあり方について、準備委員会で議論をしっかりと行うことが必要であることが確認された。また、クラブづくりで重要なことについては、クラブ設立理念の共有化のため、スタッフや会員からの意見聴取の重要性や既運営クラブの視察があげられた。



#### \* Bグループ（1年目 地域規模：都市部・都市部と山間部の中間）

課題1「広報活動の効率的な方法」、課題2「施設の活用（活動場所、日程調整）」とし、広報活動については、情報メディア（DVD、新聞折り込み、CATV等）の活用とともに、自治会への協力や広報のためのイベント開催などがあげられた。また、指導者や既存組織の役員の取り込みなど、「ひと」の重要性も話し合われた。課題2については、体育施設にこだわらず、会議室等で開催できる種目など活用できる施設の利用について話し合われた。クラブづくりで重要なことについては、理念を明確にするとともに、会員への会費の使途説明など、クラブづくりに透明性を持たすことの重要性やイベントでの啓発等があげられた。

#### \* Cグループ（1年目 地域規模：都市部と山間部の中間・山間部）

課題1「既存団体との関係」、課題2「財源の確保」とし、既存団体との関係については、総合型クラブとの良好な関係づくりのための取り組みについて話し合われた。財源の確保については、補助金終了後のクラブ運営について、会費の設定や事業内容の選定などについて協議を行った。クラブづくりで重要なことは、理念を考える上で、「集客」→「参加」→「協働」へのパラダイムの転換を基本として、「誰でも参加できる」「ハードルを下げる」などの『場づくり』の重要性が話し合われた。また、クラブ運営に行政との協力体制の構築と地域の役割を明確にすることについても、話し合われた。

#### \* Dグループ（1年目 地域規模：都市部と山間部の中間、山間部）



課題1「スポーツのとらえ方」、課題2「効果的な広報の方法」とし、スポーツのとらえ方については、パネルディスカッションで、説明された内容を確認した。効果的な広報の方法については、行政や既存団体との良好な関係づくり（会員の確保）を通じた広報の展開について話し合われた。クラブづくりで重要なことは、地域、既存団体に目に見える形で理解を求めること。お互いのメリットを考え、提供すること。会員のニーズへの対応について、協議した。

**\* Eグループ (2年目 地域規模：都市部と山間部の中間・山間部)**

課題1「スタッフの確保」、課題2「会員の確保」とし、スタッフの確保については、会員確保とあわせ、総合型クラブのメリットを伝えること。山間部の地域特性を活かした農業体験などのイベントを開催し、地域外からの会員の獲得や、地域の弱点の活用などについて、話し合われた。クラブづくりで重要なことは、地域のニーズを把握すること、ニーズにあったプログラムの開設など、地域密着型のクラブづくりの重要性について話し合われた。



**\* Fグループ (2年目 地域規模：都市部・都市部と山間部の中間)**



課題1「理念の共有」、課題2「既存団体との関係」とし、理念の共有については、意思疎通を図る場を多く持つこと。理念の考え方を広義に位置づけることなどが、話し合われた。既存団体との関係については、体育指導委員の活用や行政との協力体制について話し合われた。クラブづくりで重要なことは、住民のメリットを考えたクラブ運営や理念の再認識などについて協議された。

**5. まとめ**

最後に、本会の総括として、近畿ブロック地方企画班員より、創設支援クラブ関係者に対し、一言ずつ今後の取り組みへのエールを送り、第1回近畿ブロッククラブミーティング2010を終了した。



(報告：近畿ブロック地方企画班員 東 直也)